

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年1月27日

上場会社名 **日本精線株式会社**

（コード番号：5659 東証・大証第1部）

（URL <http://www.n-seisen.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 浅香 文昭

TEL：(06) 6222 - 5432

責任者役職・氏名 取締役経営管理部長 岸木 雅彦

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）財務諸表等の作成に際しては、中間連結財務諸表規則に準拠していますが、一部簡便な方法を採用しています。その重要なものについては、添付資料に記載しています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

記載金額の表示方法 : 百万円未満切捨て

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年3月期第3四半期	16,943 16.7	1,459 -	1,440 -	804 -
16年3月期第3四半期	14,522 -	- -	- -	- -
（参考）16年3月期	19,876	1,133	1,079	618

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	28.74	-
16年3月期第3四半期	-	-
（参考）16年3月期	21.45	-

（注）売上高以外の四半期経営成績の開示は当四半期から行っているため、前年同四半期については記載していません。売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しています。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の売上高は、主力のステンレス鋼線が製品値上後も総じて堅調であり、加えて金属繊維部門で半導体・液晶業界向けフィルター関連が当該業界の好調に支えられ、順調に売上を伸ばしたことなどにより、169億43百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

損益につきましては、金属繊維関連などの高付加価値製品の売上増をはじめとする採算性の改善、加えて生産性向上によるコストダウン効果などもあり、経常利益で14億40百万円、四半期純利益で8億4百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	23,991	11,527	48.0	411.79
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
（参考）16年3月期	22,552	10,877	48.2	388.44

（注）当四半期より四半期財政状態の開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末は前連結会計年度末と比較し、総資産で14億38百万円の増加となりました。これは、売上高の増加などにより、受取手形及び売掛金で4億24百万円、現金及び預金で9億11百万円それぞれ増加したことが主な要因となっています。

[参 考]

[業績予想に関する定性的情報等]

業績は概ね当初予想（平成16年11月16日公表）どおり順調に推移しており、連結・個別とも業績予想の変更はありません。

なお、現時点での予想は最新の情報に基づき算定していますが、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき下さい。

〔添付資料〕

1. 要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	2,489	-	-	-	1,578
受取手形及び売掛金	6,782	-	-	-	6,357
たな卸資産	3,507	-	-	-	3,276
そ の 他	405	-	-	-	391
〔流動資産合計〕	13,185	-	-	-	11,603
固定資産					
有形固定資産	8,289	-	-	-	8,601
建物及び構築物	2,822	-	-	-	3,030
機械装置及び運搬具	3,289	-	-	-	3,569
土 地	1,839	-	-	-	1,857
そ の 他	337	-	-	-	142
無形固定資産	52	-	-	-	47
投資その他の資産	2,463	-	-	-	2,300
〔固定資産合計〕	10,806	-	-	-	10,949
資産合計	23,991	-	-	-	22,552
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	4,587	-	-	-	3,951
短期借入金	2,080	-	-	-	2,744
そ の 他	1,119	-	-	-	1,396
〔流動負債合計〕	7,787	-	-	-	8,092
固定負債					
長期借入金	1,300	-	-	-	539
退職給付引当金	3,244	-	-	-	2,908
そ の 他	91	-	-	-	96
〔固定負債合計〕	4,636	-	-	-	3,544
《負債合計》	12,424	-	-	-	11,637
(少数株主持分)					
少数株主持分	39	-	-	-	38
(資本の部)					
《資本合計》	11,527	-	-	-	10,877
負債、少数株主 持分及び資本合計	23,991	-	-	-	22,552

(注) 当四半期より要約四半期連結貸借対照表の開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。

2. 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	16,943	14,522	2,421	16.7	19,876
売上原価	13,430	-	-	-	16,013
《売上総利益》	3,512	-	-	-	3,863
販売費及び一般管理費	2,053	-	-	-	2,729
《営業利益》	1,459	-	-	-	1,133
営業外収益	34	-	-	-	39
受取利息及び配当金	14	-	-	-	10
その他収益	19	-	-	-	28
営業外費用	52	-	-	-	93
支払利息	28	-	-	-	53
その他費用	24	-	-	-	39
《経常利益》	1,440	-	-	-	1,079
特別利益	-	-	-	-	37
特別損失	101	-	-	-	89
《税金等調整前四半期 (当期)純利益》	1,339	-	-	-	1,027
税金費用	530	-	-	-	402
少数株主利益	4	-	-	-	6
《四半期(当期)純利益》	804	-	-	-	618

(注) 要約四半期連結損益計算書の売上高以外は当四半期から開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。

3. 会計処理の方法における簡便な方法の採用について

会計処理で簡便な方法を使った主なものは次のとおりです。

固定資産の減価償却の方法	中間期計上額に下半期償却予定額の3/6を合算
税金費用の計算	中間期税額に3ヶ月累計(10月~12月)税額(法定実効税率使用)を合算
負債性引当金の計上方法	下半期繰入見込額の3/6を計上